

東久留米市

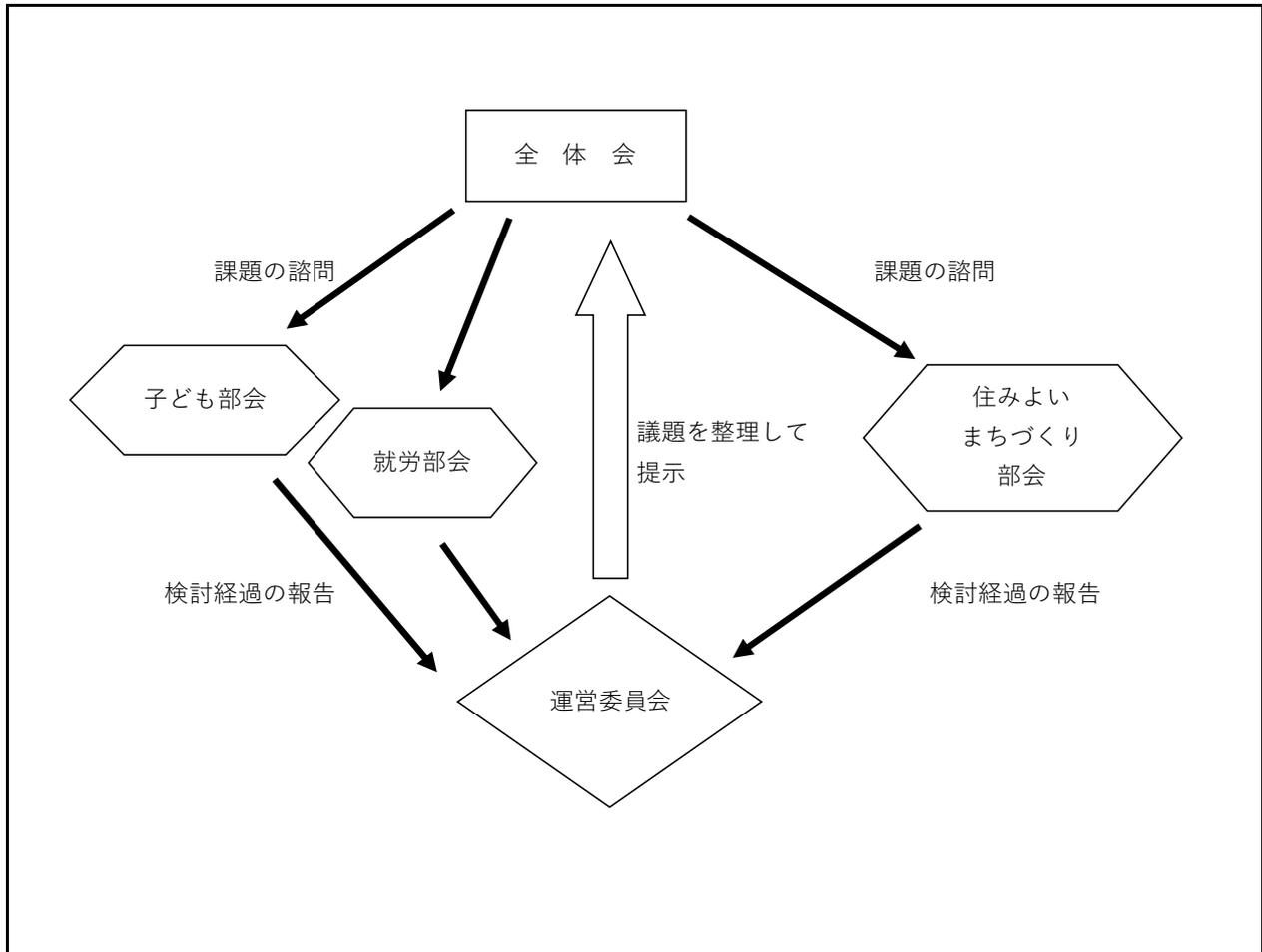
【名称】東久留米市地域支援協議会

【ホームページURL】 <http://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/kaigi/kekka/1004139/jiritsu/index.html>

【設置年月】平成24年10月

【運営方法】直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
0	2	1	1	15	6

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	未定	未定

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
5	16 (2)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
子ども部会	1	9 (0)
就労部会	0	0 (0)
住みよいまちづくり部会	0	0 (0)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

（１）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	2	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	4	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	2
障害福祉サービス等事業者	3	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
合計		16			

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	村山 拓	東京学芸大学	学識経験者	
2	副会長	磯部 光孝	社会福祉法人イリアンソス のぞみの家	障害福祉サービス等事業者	
3		齋藤 利之	全日本知的障がい者スポーツ協会	学識経験者	
4		堀野 めぐみ		障害当事者・家族・関係団体	
5		松本 健彦		障害当事者・家族・関係団体	
6		斉藤 富江		障害当事者・家族・関係団体	
7		平山 征子		障害当事者・家族・関係団体	
8		飯島 一憲	市立さいわい福祉センター	相談支援事業者	
9		小林 宏治	地域生活支援センター めるくまーる	相談支援事業者	
10		高原 聡	NPO法人武蔵野の里 ぶどうの郷	障害福祉サービス等事業者	
11		有馬 優子	NPO法人在宅支援グループ優友	障害福祉サービス等事業者	
12		武藤 英典	都立清瀬特別支援学校 高等部	教育関係機関	
13		佐藤 永規	ハローワーク三鷹	雇用関係機関	
14		横井 純子	多摩小平保健所	保健所	
15		深海 和子	東久留米市民生・児童委員	民生委員・児童委員	
16		岡野 泰嗣	東久留米市社会福祉協議会	社会福祉協議会	

（２）活動内容

第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の点検・評価
障害者福祉計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の策定

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別 \ 部会名	子ども部会	就労部会	住みよいまちづくり部会
学識経験者	1	0	0
医療関係者	0	0	0
保健所	1	0	0
教育関係機関	0	0	0
雇用関係機関	0	0	0
企業	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	1	0	0
身体・知的障害者相談員	0	0	0
相談支援事業者	1	0	0
障害福祉サービス等事業者	2	0	0
社会福祉協議会	0	0	0
法曹関係者	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0
地域住民	0	0	0
行政職員(区市町村)	3	0	0
行政職員(都)	0	0	0
その他	0	0	0
計	9	0	0

(2) 活動内容

部会名	活動内容
子ども部会	医療的ケア児
就労部会	不開催
住みよいまちづくり部会	不開催

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

⑩ 障害福祉計画等に関すること

第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の点検・評価
障害者福祉計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の策定

2 地域協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

各委員の所属団体からの情報提供
広報紙「ニューズレター」の発行
協議会議事録や配布資料を市のHPにて公開
年に1回市民参加型の協議会を開催し、情報共有に努めている（令和2年度不開催）

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

令和元年度実績評価および課題抽出

3-1 地域協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

① アンケート、ヒアリング等

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

令和2年度はコロナの影響により、面接会やPRの機会を設けることができなかった。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

4-1 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

【取り組み】

聴覚障害者が参加しているため、手話通訳者を付けている。

【課題】

委員の中に、知的障害、精神障害の当事者がいない。

（地域協議会を設置している区市町村）

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

部会の開催に当たっては、委員のみでなく、議題により委員以外の関係者にも参加してもらい、できるだけ多くの意見が聞けるよう進めている。

年に1回市民参加型の協議会を開催し、委員以外の当事者からの声を直接聞ける機会を設けている。（令和2年度不開催）